



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2023年1月号（605号）》

目 次

報 告

・臨時司教総会	1
・常任司教委員会	3
・社会司教委員会	3
・典礼委員会	4
・学校教育委員会	6
・難民移住移動者委員会	6
・カリタスジャパン	9
・正義と平和協議会	10
・日本キリスト教連合会	11
・子どもと女性の権利擁護のためのデスク	12
・「ラウダート・シ」デスク	13
・中央協議会事務局（総務）	14
公文書	15

臨時司教総会

■2022年度第2回臨時司教総会

日 時 2022年12月6日（火）

場 所 日本カトリック会館 マレラホール

出席者 会 員 16名
招請者 1名
オブザーバー 3名
司教総会事務担当スタッフ 7名

報 告

1. FABC50 周年総会について

本年10月12日(水) - 30日(日)にタイのバンコクでFABC50周年総会が開催され、前田万葉枢機卿、菊地 功大司教、勝谷太治司教、ヨゼフ・アベイヤ司教(全日程)、中村倫明大司教(10月20日-30日)、成井大介司教(10月12日-20日)が参加したので、その内容が報告された。

2. 日韓司教交流会 25 周年記念誌発行について

本年2022年に第25回日韓司教交流会を日本で開催する方向で準備を進めていたが、Covid-19が終息に至っていないことから1年延期することが決定した。両国で準備していた記念誌は予定どおり今年発行することとなり、11月15日に両国司教協議会会長と交流会担当司教が参加して、『ともに歩んだ25年 親交と一致の旅 日韓司教交流会 25周年記念資料集』発行記念式典をオンラインで行った。この模様は録画・編集して後日、YouTube配信を行う予定。

3. ワールド・ユースデー(WYD)2023年リスボン大会準備について

2023年8月にリスボンでワールド・ユースデーが開催されるため、日本での参加申し込みや費用なども含めた準備状況について報告が行われた。

4. 2023年四旬節キャンペーン大綱承認について

2022年12月の常任司教委員会において、「2023年四旬節キャンペーン大綱」が承認された。教皇の四旬節の意向に合わせて募金を行う。募金の目標額は1億円で、国内・海外を問わず、その年に必要とされている援助活動に配分する。

5. 2023年度司教協議会年間活動方針について

本年9月の常任司教委員会で確定した2023年度の予算編成のための司教協議会年間活動方針について報告した。

審 議

1. 司教協議会内での司教の役職一部追加について

司教協議会会長の菊地 功大司教が任命する以下の司教の役職を承認した。

①「ラウダート・シ」デスク担当司教：ヨゼフ・アベイヤ司教

*成井大介司教は同デスクの責任司教となる。

②未成年者と弱い立場におかれている成人の保護のためのガイドライン運用促進部門

協力司教：森山信三司教

2. 「祖父母と高齢者のための世界祈願日」の移動について

日本の教会からの要請に応え、7月第4主日に祝う「祖父母と高齢者のための世界祈願日」を日本の現状を考慮して移動しても問題はないとの教皇庁いのち・信徒・家庭省長官からの書簡を受け、日本の教会として2024年から同祈願日を「敬老の日」に近い9月第3主日に移動することを承認した。

3. 2023年度カトリック中央協議会予算案承認について

2023年度(宗)カトリック中央協議会予算(案)を2023年度(宗)カトリック中央協議会予算として承認した。

常任司教委員会

■12 月定例常任司教委員会

日 時 2022 年 12 月 1 日 (木) 10:00-12:00
場 所 日本カトリック会館 マレラホール
出席者 委 員 7 名
事務局 8 名

報 告

1. 教皇庁組織英語名について
教皇フランシスコは、使徒憲章『プレディカーテ・エバンジェリウム』(2022 年 3 月 19 日発表、6 月 5 日発効)によって、教皇庁組織を再編成した。当初はイタリア語版しか発表されていなかったが、このたびウェブサイトにも英語名を加えたことが報告された。
2. 在留特別許可申請署名の呼びかけについて
日本司教協議会として推進している在留特別許可申請の署名を 2023 年 1 月末まで行うため、各教区に再度呼びかけを依頼することが報告された。

審 議

1. 2022 年度第 2 回臨時司教総会の議案確定について
12 月 6 日に開催する臨時司教総会で取り扱う事項を確定した。(詳細は 12 月臨時司教総会報告参照)
2. WYD 参加司教の旅費について
WYD 参加のための司教の旅費に関しては、青少年司牧部門の責任司教と担当司教を含む 3 名分を司教協議会の費用から支払う。
3. 大陸別シノドスの参加者について
2023 年 2 月 23 日-27 日にタイのバンコクで開催されるアジア大陸シノドスの日本からの参加者として、菊地 功大司教の他に高松教区の高山徹師、JLMM の辻 明美氏を派遣することを承認した。
4. 2023 年四旬節キャンペーン大綱承認について
カリタスジャパンから提出された「2023 年四旬節キャンペーン大綱」を承認し、2022 年度第 2 回臨時司教総会の報告事項とする。
5. 2023 年度(宗)カトリック中央協議会予算案について
財務委員会から提出された 2023 年度(宗)カトリック中央協議会予算案を、2022 年度第 2 回臨時司教総会へ常任司教委員会から提出する正式な同予算案とすることを承認した。

社会司教委員会

■定例会議

日 時 2022 年 12 月 5 日 (月) 14:00-17:00
場 所 日本カトリック会館 マレラホール
出席者 11 名

報 告

1. 7 月の司教総会にて、「ラウダート・シ」デスク設置が決定し、成井大介司教が担当司教に任命された。

審 議

1. 朝鮮戦争休戦 70 周年、関東大震災虐殺 100 周年に際しての日韓司教団協働行動についての正義と平和協議会からの提案について
2. 正義と平和全国集会次期開催候補教区の決定について
3. 2023 年度定例会議開催日程について

■司教のための社会問題研修会

日 時 2022 年 12 月 7 日 (水)

場 所 日本カトリック会館 マレラホール

テーマ：「ウクライナ戦争以降の日本の軍拡の現状と平和」

講 師：布施祐仁さん (ジャーナリスト)

中野晃一さん (上智大学 政治学)

インタビュー：宮古島島民の方々

ウクライナ戦争開始以降、世界中で防衛意識が高まる中、台湾の独立をめぐる米中の対立を背景に、日本政府も軍事拡大政策にこれまでにない意欲を示している。この現状を、国際政治の側面から中野晃一氏に、軍備政策の側面から布施祐仁さんに分析していただき、日米の対中国防衛政策の最前線として自衛隊基地配備の進む南西諸島の住民の方々の声に耳を傾け、日本国憲法の非暴力平和主義を支持してきた日本のカトリック教会として、何をなすべきか討議を行った。

典礼委員会

■『ミサ典礼書』改訂委員会

日 時 2022 年 11 月 14 日 (月) 9:30-12:00

場 所 ウェブ会議

出席者 5 名

審 議

1. 新しい「ミサの式次第」の実施に伴う司式者用儀式書『聖週間の典礼』の修正について検討した。
2. 他の儀式を伴うミサの入祭唱・拝領唱の日本語訳、ならびに現行の公式祈願の結びの定句について検討した。

■ 典礼音楽担当部門

日 時 2022 年 11 月 16 日 (水) 15:00-16:00

場 所 ウェブ会議

出席者 3 名

欠席者 1 名

審 議

1. 新しい「ミサの賛歌」の伴奏用楽譜の記譜について検討した。

■定例会議

日 時 2022年11月21日(月) 10:00-14:00

場 所 ウェブ会議

出席者 8名

欠席者 2名

報 告

1. 新しい「ミサの式次第」に関する各教区説明会協力状況

本年の待降節第1主日(11月27日)より実施される新しい「ミサの式次第」の周知のために、昨秋より各教区等で説明会が行われている。それを受けて、講師として協力した委員からの報告および今後の予定等について情報交換を行った。

2. 新しい「ミサの式次第」に関連する発行物について

①司式者用儀式書『ミサの式次第』

掲記儀式書は10月末に4500部発行し、各小教区、修道院等より注文を受けて発送した。引き続き周知するとともに、各国の邦人共同体からの希望があった場合、一時帰国者に託す方法で贈呈する。

なお、以下の修正箇所について報告があった。

184頁最終行

(誤)世に来られることを → (正)世に来られたことを

333頁1行目

(誤)時が満(みち)ちると → (正)時が満(み)ちると(振り仮名の修正)

②『新しい「ミサの式次第と第一～第四奉献文」の変更箇所——2022年11月27日〔待降節第1主日〕からの実施に向けて』

出版部より在庫切れとなったとの連絡を受けて、PDFとしてカトリック中央協議会のウェブサイトに掲載するよう、依頼する。

審 議

1. カトリック新聞連載記事の小冊子化について

昨年11月より当委員会委員がカトリック新聞にリレー形式で連載した、新しい「ミサの式次第」の実施に向けての周知を図るための記事について小冊子として発行することを確認した。あわせて、連載時に寄せられた諸意見に応じた解説も盛り込む予定。

2. 新しい「ミサの式次第」の実施にともなう『儀式書 聖週間の典礼』の修正について

新しい「ミサの式次第」に伴う掲記儀式書の修正箇所の確認を行った。カトリック中央協議会ウェブサイト掲記資料を公表して周知する。

次回日程

定例会議 2023年1月16日(月) 13:30-17:00 カトリック横浜司教館(神奈川)

■『ミサ典礼書』改訂委員会

日 時 2022年12月12日(月) 9:30-12:00

場 所 ウェブ会議

出席者 5名

審 議

1. 新しい「ミサの式次第」の解説用冊子について検討した。
2. 他の儀式を伴うミサと種々の機会のためのミサの入祭唱・拝領唱の日本語訳について検討した。

学校教育委員会

■第 183 回学校教育委員会

日 時 2022 年 12 月 1 日 (木) 16:00-18:15

場 所 幼きイエス会 [ニコラ・バレ修道院]

出席者 13 名

報 告 学校連合会

2022 年度に実施された委員会や研修会、発行された出版物について、また、各研修会で挙げられた意見や疑問点等が報告された。

審 議

1. 第 35 回「校長・理事長・総長管区長の集い (集い)」について
2023 年 4 月 28 日-29 日に開催する第 35 回「集い」の講師、プログラムについて検討した。
2. 学校教育委員会の活動について
1989 年に実施された「カトリック教育学校実態調査」について紹介された。現在のカトリック学校が置かれている状況を把握するため、同様の調査を実施する可能性について意見交換を行った。
3. 日本カトリック難民移住移動者委員会からの依頼について
日本カトリック難民移住移動者委員会内の人身取引問題に取り組む部会 (タリタクム日本) より、人身取引、難民問題に関する出前授業の企画紹介を「集い」で行いたいとの依頼が寄せられた。「集い」のプログラムや時間配分を考慮し、タリタクム日本が紹介する時間を設けることを申し合わせた。
4. カトリック学校教職員研修長崎・五島巡礼について
隔年で実施している長崎・五島巡礼は、新型コロナウイルス感染症により 2 年間実施を見送ってきた。来年度実施の可能性、企画や準備について意見交換を行った。

難民移住移動者委員会

■第 4 回定例委員会

日 時 2022 年 11 月 1 日 (火) 11:00-16:00

場 所 日本カトリック会館 会議室 3 および ウェブ会議

出席者 16 名

報 告

1. 人身取引問題に取り組む部会 (タリタクム日本) 報告
2. 船員司牧部会 (ステラマリス日本) 報告
3. 司教団による署名活動「在留特別許可を一人でも多くの人に」
4. 外キ協関連報告

5. アドボカシー啓発プロジェクト
6. 各地からの報告

審 議

1. 2022年度担当者・ネットワーク合同会議を振り返り、今後に向けて意見を交換した。
2. 2023年度予算案を確認した。
3. 緊急援助金申請の説明と、今後の活用について意見交換が行われた。
4. 2023年度年間予定として、定例委員会と担当者・ネットワーク合同会議の日程を確認した。

■スペイン語話者司牧者の集い（APALA 総会）

日 時 2022年11月3日（木）14:00-21:00
場 所 日本カトリック会館 マレラホール および ウェブ会議
出席者 29名

「信仰と希望：日々の生活の糧、危機の時にもラテンアメリカとカトリックのアイデンティティを生きる」というテーマのもとに、コロナ禍で直面した問題や、その中で深められたこと、今後の展望を、神学的講義を交えてスペイン語で討議した。ミサの様子はFacebookでオンライン配信された。

■第10回事務局会議

日 時 2022年11月9日（水） 15:00-17:00
場 所 ウェブ会議
出席者 7名

報 告

1. アドボカシー啓発プロジェクト報告
2. 人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）報告
3. スペイン語話者司牧者の集い（APALA 総会）報告

審 議

1. 緊急援助金申請4件について審査し、決定した。
2. 社会司教委員会主催「出前研修」来年度メニューに向けて意見交換し、方針を決定した。
3. 10月開催の全国担当者・ネットワーク合同会議、11月定例委員会では出された意見や提案について検討した。司教団の賛同署名キャンペーンについて、委員会からの提案依頼があり、具体的な提案について検討した。

■第6回船員司牧（ステラマリス日本）コア会議

日 時 2022年11月24日（木）14:00-17:00
場 所 ウェブ会議
出席者 10名

講 演

36年の歴史を閉じ、今年6月に解散した「苦小牧キリスト教船員奉仕会」の歴史、超教派の活動の経緯、協

力の発展について元事務局長の柳谷 豊さんにかがいがい、意見交換を行なった。

報 告

1. ステラマリス第25回世界大会報告の共有

2020年に予定され延期となっていた100周年記念世界大会が、船員司牧発祥の地、スコットランドのグラスゴーで開催された。日本からは、横浜教区ステラマリスメンバー1名が唯一参加した。教区での報告内容について共有があった。

審 議

1. 社会司教委員会「出前研修」メニューについて意見交換を行なった。
2. 2023年度コア会議、全国会議、全国研修会日程を確認した。

■第5回全国担当者・ネットワーク情報交換会

日 時 2022年12月1日(木) 14:00-15:00

場 所 ウェブ会議

出席者 15名

各地での言語別共同体の状況、支援活動状況や課題が分かち合われた。

福岡教区担当者から、長崎の大村入管収容中に、怪我の不適切な処置で病気を発症し、適切な医療措置がなされないまま寝たきりの状態となっているネパール人男性への支援状況の経過報告と相談があった。

在留資格のない外国人の命と健康を、教会関係をはじめとして民間団体が協力して霊的にも金銭的にも支えている状況、こうした生存権の保障策を国に求める取り組みについても報告があった。

そのほか、教区を越えた入管施設収容者への支援について、また業務経験はないものの母国で特定技能試験に合格した外国人を知的障害者の介護施設が採用することへの懸念、そして協力の可能性などが分かち合われた。

■第11回事務局会議

日 時 2022年12月1日(木) 15:00-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 8名

報 告

1. 人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）報告
2. 船員司牧部会（ステラマリス日本）報告
3. 2023年度予算について
4. 外キ連、難キ連関連

審 議

1. 緊急援助金として、仮放免者支援1件が承認された。
2. 担当者・ネットワーク合同会議後の各管区の動きについて情報共有した。
3. 全国カトリック校（中高）への出張授業企画の進捗が報告され、今後の対応についてはタリタクム日本運営委員会で審議されることになった。
4. ベトナム対応チーム会議が12月13日に行われるにあたり、審議事項と参加者を確認した。

5. 司教団による署名活動「在留特別許可を一人でも多くの人に」が1月末に終了することが報告され、今後の協力について意見交換が行われた。

カリタスジャパン

■第7回 事務局会議

日 時 2022年11月22日(火) 10:00-12:30
場 所 ウェブ会議
出席者 7名

報 告

1. カリタスアジア年次総会・パートナーズフォーラム
標記会議が11月7日-10日、タイ・バンコクで行われ、担当司教・秘書・事務長が出席した。
2. 国際カリタス管理基準(CIMS)改善作業進捗
前回のCIMSで指摘された事項について改善し、次回セルフアセスメントは2023年2月に実施する予定。

審 議

1. カリタスジャパン会議体について(合同会議を受けて)
次年度の会議から反映できる点を次回合同会議に提案する。
2. 次年度の年間活動計画(スケジュール)について
審議1の事柄を反映した事務局案を合同会議にて提出する。
3. 12月13日の合同会議の議案について
報告事項・審議事項について確認した。
4. その他

次回日程:

2023年1月31日(火) 10:00-12:00 ウェブ会議

■第6回 啓発部会会議

日 時 2022年11月25日(金) 10:00-12:00
場 所 ウェブ会議
出席者 10名

報 告

1. 事務局活動報告
2. 21世紀キリスト教社会福祉実践会議
第12回大会(2023年2月23日(木・祝)オンライン開催)の準備状況

審 議

1. 2023年度活動計画について
2. 国際カリタスキャンペーン「Together We」動画制作について

次回日程：

2023年1月27日（金） 10:00-12:00 ウェブ会議

正義と平和協議会

■定例委員会

日 時 2022年11月16日（水）13:30-17:00

場 所 ウェブ会議

出席者 17名

報 告

1. 社会司教委員会主催 司教のための社会問題研修会（12月7日）準備状況
2. ウクライナを覚えて平和を祈るキリスト者祈祷会 実施状況
3. 正義と平和井戸端協議会 実施状況
4. 各教区の「正義と平和」との連携について
5. 部会報告
改憲対策部会 11月28日、オンライン座談会「宗教と政治」開催
6. 日韓和解と平和プラットフォーム日韓合同運営委員会（11月8-10日）

審 議

1. 2023年度事業について
 - ・社会司教委員会主催司教のための社会問題勉強会（12月7日）の講演を講演録としてまとめ、発行することを承認した。
 - ・那覇教区平和委員会との連携のため、6月22日に定例委員会を開催。6月23日の教区平和巡礼に参加する。
2. 2023年全国会議（3月3日-4日）
テーマ、公開講演会について検討した。テーマに「ジェンダー」を取り上げる。詳細は継続審議。
3. 正義と平和全国集会について、社会司教委員会で今後の継続について検討を依頼する。
4. 2023年度社会司教委員会「出前研修会」の内容を検討した。
5. 日韓和解と平和プラットフォーム日韓合同運営委員会からのカトリック教会への行動提起の依頼について、社会司教委員会で審議依頼をする。

■事務局会議

日 時 2022年11月22日（火）13:30-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2、ハイブリッド

出席者 7名

報 告

1. 札幌教区全道交流会（11月19日）参加、正義と平和活動の課題について50年の活動と現状を報告した。
2. 正義と平和井戸端協議会

- 第4回 11月18日(金)「職場のハラスメント」
3. ウクライナを覚えて平和を祈るキリスト者祈祷会
第7回 11月24日(木) 20:00-20:45

審 議

1. 全国会議 (2023年3月3日-4日)
11月16日の定例委員会での討議をもとに、会議の進め方を検討した。
2. 定例委員会 (2023年6月22日-23日)
那覇教区で開催予定の定例委員会について確認、検討した。

■オンライン座談会「宗教と政治」

日 時 2022年11月28日(月) 18:30-20:30
主 催 正義と平和協議会 改憲対策部会
講 演 島 蘭 進さん(東京大学名誉教授 宗教学)
座談会 改憲対策部会、松浦悟郎司教(「ピース9の会」呼びかけ人)

内 容

7月の安倍晋三元首相殺害事件以来、世界平和統一家庭連合(旧統一協会)がにわかに注目を集め、宗教右派と保守政治との関係が、マスコミなどで次々に明らかになってきた。改憲対策部会では、旧統一協会の宗教団体としての問題点、保守政治との接点などについて宗教学者の島蘭進さんからお話を伺い、私たち宗教者が政治に関心を持ち、神の国の実現を目指して行動する際に立つべき、基本的理念は何か、松浦悟郎司教を交え、座談会形式で話し合った。(オンライン参加は70名ほどであった)。

日本キリスト教連合会

■2022年度第2回常任委員会

日 時 2022年9月22日(木) 10:00-12:00
会 場 ウェブ会議
出席者 7名

報 告

1. 日本宗教連盟(日宗連)
 - 1) 比叡山宗教サミット報告(矢萩委員より)
 - 2) 文化庁宗務課との懇談 8月5日
 - 3) 理事長談話「世界平和統一家庭連合をめぐる問題について」9月2日付け発表
 - 4) 文化庁主催 宗教法人事務研修会—東京都開催(11月8日 一橋会館にて)
2. 東京都宗教連盟(都宗連)
 - 1) 宗教法人運営実務研究協議会が8月26日にカルト問題をテーマにオンラインで開催された。
 - 2) 宗教法人実務研修会が10月3日に「旧統一教会報道のマスコミの対応」をテーマにハイブリッドで開催された。
3. 事務局 会報・研修会案内を送付した。

協 議

1. 2022 年度の「法人事務・会計実務研修会」について
8 月中に案内発送を完了した。(9 月 21 日現在 78 名申込)
・各講義の資料提供を準備中
録画について—参加者が録画はできない。音声データを 1,000 円で配布することはできる。
長岡淳三先生に、インボイス制度についての説明をお願いします。
2. 会報発行について
8 月中に完成し、送付済。矢木委員に感謝。
12 月発行予定の会報の構成—セミナー報告(矢木委員)、巻頭言(川口委員)、新常任委員の紹介
3. 統一協会問題について
委員長名で、日キ連に加盟しているキリスト教会は、統一協会とは関係していない旨の声明を出すか。
(執筆担当: 本田)
櫻井園郎顧問から「日宗連理事長談話を支持する意思を出すのはどうか」との提案があった。
 - ・被害相談について
日宗連理事長談話を出すか。取り組みをしている教団の情報を会報に載せるか。日キ連 HP に被害相談窓口を載せるか などの意見が出された。
 - ・相談窓口
日キ連の HP にリンクを貼って日本基督教団 HP のカルト相談窓口を紹介する。(日本基督教団の承諾を得る)
4. その他 天城山荘が売却されることになった。

次回日程【2022 年度第 3 回常任委員会】2022 年 12 月 9 日(金) 10:00-12:00 (ZOOM にて開催)

子どもと女性の権利擁護のためのデスク

■事務局会議

日 時 2022 年 12 月 5 日(月) 10:30-12:00
場 所 日本カトリック会館 会議室 3
出席者 5 名

報 告

1. 事務局報告
大分教区への出張、女性支援に関する新法についての研修報告を行った。
2. 2023 年度予算案について
予算検討会(11 月 9 日)にてデスクの予算案は承認された。なお、全国教区担当者会議の交通費の全額負担の件について、司教協議会の規約に基づいて予算案を策定するよう指摘を受けたため、社会司教委員会所属委員会・デスクの規約等を精査し、今後の対応について検討することが報告された。
3. 司祭研修会(2023 年 1 月: 司祭養成部門)について
司祭研修会(叙階後 4-6 年目の司祭、26-7 名)は、2023 年 1 月 12 日-19 日、別府(大分教区)にて実施予定。性暴力関連のテーマについては中島幸子さんを講師として研修を実施する。
4. 運用部門進捗
全国教区事務長会議(11 月 24 日実施)にて、司教団によるガイドラインの発行、その遵守の徹底が伝達され、監査等の手順について確認が行われた。

審 議

1. 今後の会議のあり方
本事務局会議メンバーで、ガイドラインを熟読して分析する時間（現場の視点からの疑問点、課題を想定する）を持つ。デスクは、現場の担当者に説明できるように整え、教区内で周知できるように後押しする。
2. 2023 年度活動計画
2023 年度前半は、審議 1 の結果の通り、ガイドラインと向き合う時間を持つ。その後については、継続審議となった。

次回事務局会議日程

2023 年 2 月 13 日（月）10:30-13:00

「ラウダート・シ」デスク

■第 1 回会議

日 時 2022 年 11 月 14 日（月）14:00-17:10

場 所 日本カトリック会館 会議室 4

出席者 10 名

2022 年度第 1 回臨時司教総会（7 月）において設立された本デスクの最初の会合のため、司教 2 名と委員 6 名が対面で集い、ブレインストーミングとして、デスク設置までの経緯や、デスクの目的と活動内容について意見交換を行った。

合意事柄

1. 「エコロジー問題に取り組むための検討会」が司教団に提出した提案書についての、司教団からのフィードバックと、その後、ラウダート・シ・チームによる冊子づくりまでの流れを丁寧に確認したうえで、今後の道筋を立てる。
2. デスクの目的とそれを実現するための手段を文章化し、その文言を司教団に諮る。

中央協議会事務局

■総務

1月会議予定

11日(水)	リニューアルプロジェクト会議	日本カトリック会館
12日(木)	音訳校正勉強会	〃
12日(木)	常任司教委員会	〃
12日(木)	目の見えない人・見えにくい人のための点字教室	〃
12-19日(木-木)	司祭生涯育成プログラム	イエスのカリタス修道女会 亀川修道院
12日(木)	学校教育委員会	ニコラ・バレ四谷
13日(金)	カリタスジャパン援助審査会	ウェブ会議
16日(月)	典礼委員会定例会議	横浜司教館
18日(水)	ロゴス点訳・校正勉強会	日本カトリック会館
19-23日(木-月)	第4四半期 会計士監査	〃
20日(金)	音訳勉強会	〃
20日(金)	難民移住移動者委員会担当者・ネットワーク情報交換会	ウェブ会議
20日(金)	難民移住移動者委員会 事務局会議	ウェブ会議
24日(火)	難民移住移動者委員会タリタコム日本運営委員会	日本カトリック会館
24-25日(火-水)	テキストデイジー研修会	〃
26日(木)	目の見えない人・見えにくい人のための点字教室	〃
26-27日(木-金)	外国人住民基本法の制定を求める 全国キリスト教連絡協議会 2023年 第37回全国協議会	在日大韓基督教会 川崎教会
27日(金)	外国人住民基本法の制定を求める 全国キリスト教連絡協議会 2023年 第37回全国集会	〃
27日(金)	カリタスジャパン啓発部会	ウェブ会議
30日(月)	難民移住移動者委員会 船員司牧コア会議	〃
31日(火)	カリタスジャパン事務局会議	〃

〈会報 2023 年 1 月号 公文書〉

岸田政権の「安保関連3文書」閣議決定に抗議し撤回を求めます
(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/12/21/26143/>)



2023 年「世界平和の日」教皇メッセージ(2023.1.1)
(<https://www.cbcj.catholic.jp/2022/12/26/26176/>)



カトリック中央協議会 「会報」 2023年1月号 (通巻605号)

発行日 2023年1月16日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <https://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457